

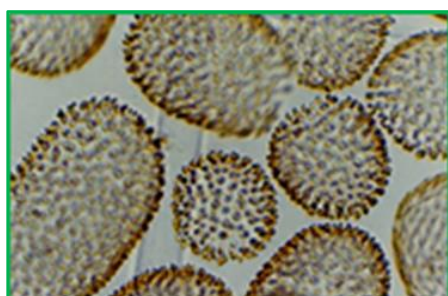
瀬田川プランクトン調査結果速報

～第43報～

滋賀県琵琶湖環境科学研究センター
環境監視部門 生物圏係
令和7年1月14日

1.最も数が多かった種類(優占種)

植物プランクトン第1優占種



Uroglena americana

(ウログレナ)

黄色鞭毛藻綱

楕円形または倒卵形の細胞が寒天質の表層に規則正しく配列し、球状の群体を形成します。また、各細胞は不等長の2本の鞭毛を有し、それらを動かして回転しながら遊泳します。生ぐさ臭のする物質を産生し、水道水の異臭味の原因となる藻類です。

動物プランクトン第1優占種



Codonella cratera

(スナカラムシ)

繊毛虫類

壺のような形状をした、くびれのある黒色の殻を持ち、殻前方(写真右下部)から微生物などの有機物を摂食します。殻は砂粒などから構成されています。また、殻の中には無色透明の繊毛虫が入っていますが、環境が悪くなると殻から抜け出して遊泳することが知られています。

コメント

植物プランクトンは細胞数・体積ともに黄色鞭毛藻に属するウログレナ(*Uroglena americana*)が優占種となりました。網別の体積では、降順で珪藻が約43%、黄色鞭毛藻が約41%、次いで褐色鞭毛藻が約14%となりました。動物プランクトンは、繊毛虫類のスナカラムシ(*Codonella cratera*)が優占種となりました。ピコ植物プランクトンについては、今週は1,500細胞/mL計数されました(輝橙色:100%)。

今週の調査では、ウログレナが再び増加していることがわかりました(中群体換算で約10群体/mL)。過去数年間の1月における調査結果と比較して、数が多い状況です。

また、第2優占種は先週に引き続きオビケイソウ(*Fragilaria crotonensis*)となりました。珪藻全体の体積は過去数年間の同時期と比較して大差ないものの、今年度はヒメマルケイソウ(*Cyclotella glomerata*)のような小型の珪藻の代わりにオビケイソウが増加している状態が続いています。

2.計数された主なプランクトンとその数(個体数)*

(1)動物プランクトン

第 1 優 占 種		(個体/L)
繊毛虫類	<i>Codonella cratera</i>	280

第 2 優 占 種		(個体/L)
ワムシ類	<i>Synchaeta oblonga</i>	240

* 個体数は、プランクトンネットNXXX25(目合い41μm)で1000倍濃縮したものを直接検鏡して計測しました。

瀬田川植物プランクトン調査結果速報

～第43報～

滋賀県琵琶湖環境科学研究センター

環境監視部門 生物圏係

令和7年1月14日

(2) 植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)		
		数	体積
(黄鞭) <i>Chrysamoeba radians</i>	80		
(黄鞭) <i>Uroglena americana</i> ★	2900	◎	◎
(黄鞭) <i>Dinobryon bavaricum</i>	32		
(黄鞭) <i>Synura petersenii</i>	16		
(珪) <i>Aulacoseira granulata</i> var. <i>angustissima</i>	24		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	480		
(珪) <i>Cyclotella</i> sp.	220		
(珪) <i>Skeletonema potamos</i>	120		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	790	○	○
(珪) <i>Fragilaria capucina</i>	20		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	74		
(珪) <i>Asterionella gracillima</i>	30		
(珪) <i>Synedra acus</i>	6		
(珪) <i>Cymbella</i> sp.	20		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	20		
(珪) <i>Nitzschia</i> sp.	20		
(渦) <i>Gymnodinium</i> sp.	20		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	160		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	120		
(緑) <i>Micractinium pusillum</i>	320		
(緑) <i>Ankistrodesmus falcatus</i> var. <i>mirabile</i>	20		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	3028	55.1	40.5
(珪) 珪藻綱	1824	33.2	43.2
(渦) 渦鞭毛藻綱	20	0.4	1.2
(褐) 褐色鞭毛藻綱	280	5.1	13.6
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	340	6.2	1.5
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細 胞 数	5492	総体積 (μm^3)	2.15E+06
種 類 数	21		

注1) 細胞数の単位は(細胞/mL)

ただし * 印の種は群体数(群体/mL)

注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種

数字は各綱ごとの占有率(単位: %)

注3) ★: 異臭味原因プランクトン

注4) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から

試験的に推定した概算値です。

ピコ植物プランクトン

1,000倍G励起で撮影

(倍率: 10 × 20倍)



①,②,⑤,⑥: 深赤色 ③,④,⑦: 輝橙色

(3) 見つかったピコ植物プランクトンとその数(細胞数)

ピコ植物プランクトン数	細胞数/mL
(藍) <i>Synechococcus</i> sp.	1,500

注1) プランクトンを大きさ別に分類したとき、大きさが0.2～2 μm (1 μm は1mmの1,000分の1)の最も小さなランクのものをピコプランクトンと呼んでいます。この中で光合成色素を持つものをピコ植物プランクトンと呼んでいます。ピコ植物プランクトンは細菌と同じくらい小さいので、落射蛍光顕微鏡を用いて観察し計数します。G励起(緑色光照射)で輝橙色に輝く種類と深赤色に見える種類があります。